

# 育ちをはぐくむ 乳幼児期からの 支援のあり方

スクラム・ネット

理学療法士

窪田 洋美

公認心理師

川嶋 真由子

療育コーディネーター

田中 理恵

# スクラム・ネットとは

- ・ 大北圏域にお住まいの障がい児者が安心して地域で生活できるように、総合相談窓口として相談支援を行う障害者総合支援センターです。
- ・ 大町市総合福祉センターの2階に事務所があります。

スクラム・ネットには、

- ・ 生活支援コーディネーター（身体障害・知的障害・精神障害）
- ・ 相談支援専門員
- ・ 発達障がいサポート・マネージャー
- ・ 療育コーディネーター

が、常勤しています。



# 障がい児等療育支援事業

長野県から委託されている障がい児等療育支援事業という事業があります。障がいのあるお子さんや発達の気になるお子さんが、地域の中で健やかに育まれることができるような地域づくりのお手伝いをしています。

その事業の一つとして、保育園や幼稚園へ定期的に訪問し、お子さんが園で過ごしやすくするためのアイデア提供をしています。

## お子さんや療育に関する相談スタッフ

- ・ 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
- ・ 臨床発達心理士、公認心理師
- ・ 療育コーディネーター
- ・ 発達障がいサポート・マネージャー

# スクラム・ネットによる巡回相談

- ・ 専門的な資格を有するスタッフによる巡回相談

小学校（市内6校）

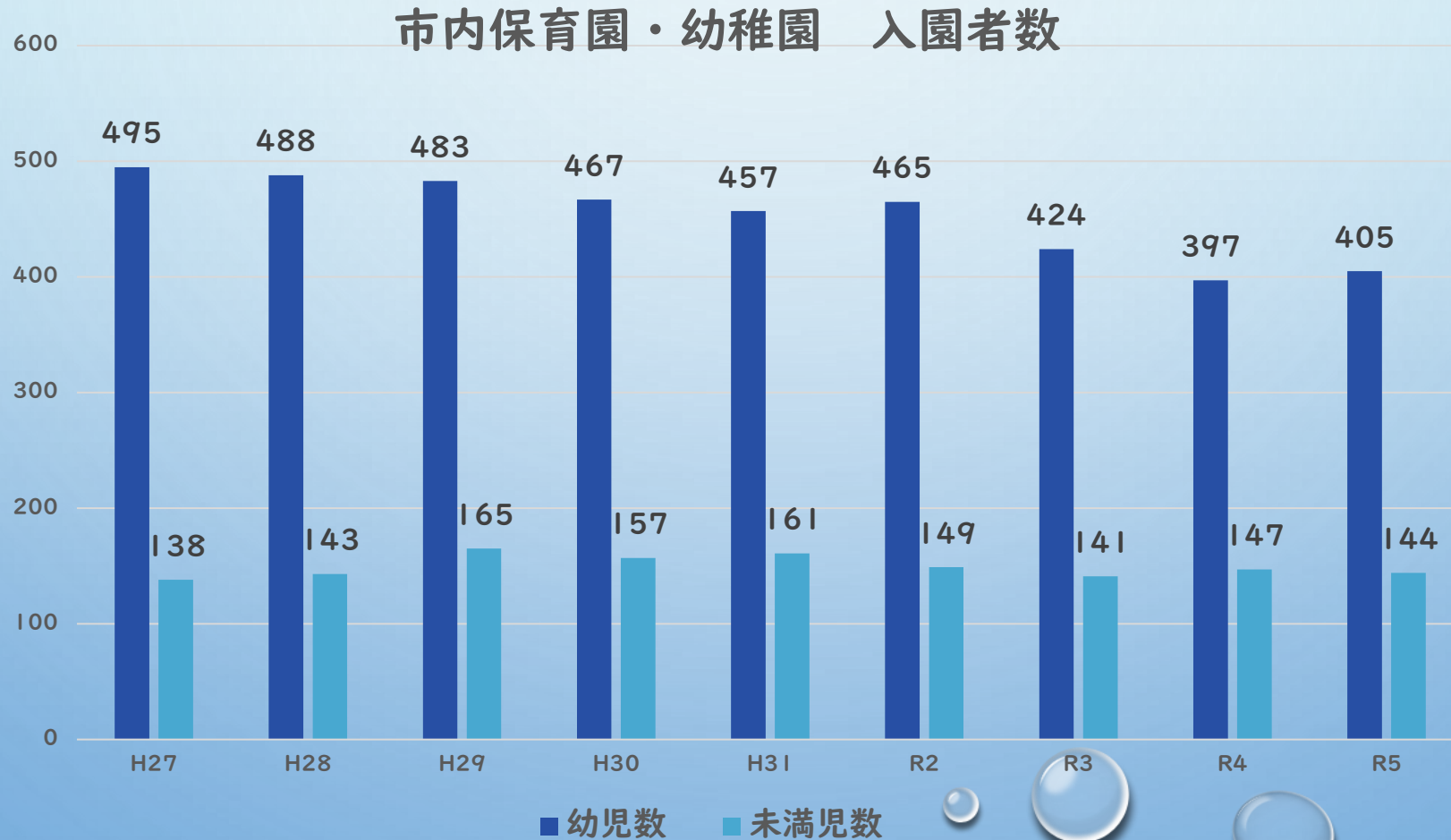
保育園（市内6園）

幼稚園（市内3園）

その他（安曇養護学校、きらり大町総合病院園など）

5歳児相談への協力

# 年齢別入園割合



# 未満児巡回について

理学療法士、公認心理師が市の地区保健師と共に年1～2回各園を訪問し、未満児クラス担当の保育士の相談にのっています。

0～2歳は、身体も心も目覚ましい発達の変化がみられる時期です。一生でいちばん発達し、その後の人生に大きく影響する時期です。

# 分科会の主題

こどもは大きな可能性をもったかけがいのない存在であり、やがて社会を支える未来の力になります。

こどもたちを取り巻く環境の変化の中で、育ちの出発点である乳幼児期に、こどもたちとどう関わり、育ちを見守ることで、可能性を伸ばしていけるか共に考えましょう。

# 提 案 その①

こどもたちが家庭の次に長い時間を過ごすことになる園。園で初めてできることもたくさんあると思います。そういったことを園と家庭で共有し、共に子の育ちを見守り支えていく。そのために園と家庭が上手く力を合わせられるよう、何ができるかを一緒に考えましょう。

また、こどもは地域で生活しています。地域のみなさんにも子・家庭を見守り、支えていただきたい存在です。

・それぞれの立場（家庭、園、地域、職場など）で、『情報の共有』などの点で、困っていることなど話してみてください。

## 提 案 その②

休憩前に出た、困り感、課題について

- ・こんなシステムや仕組みがあったらいいな、助かるなと思うことを話してみてください。